

所属・資格 史学科・教授

申請者氏名 土屋 好古

研究課題		ロシア第一次革命と国会体制の成立
報告の概要	研究目的 および 研究概要	帝政ロシアでは、1905年に起こったいわゆる第一次革命の結果、1906年に国家基本法（憲法）が制定されるとともに、制限が多く間接選挙ではあったが、国民の選挙によって選出される国家ドゥーマ（下院）と、国家評議会（上院）の二院制による国会体制が成立した。この国会体制は、専制と議会政治の闘争と妥協の場となり、ロシアの政治を方向づけることになった。本研究では、前年度に引き続き、この体制が成立する契機となった第一次革命を検討するとともに、1906年3月から4月にかけて行われた第一国会選挙の労働者クーリアの状況を中心に分析を進める。さらに第一国会での諸党派と政府の対立、国会解散とヴイボルク宣言までのプロセスを考察する。
	研究の結果	本年度は、これまで集めてきた史料の補足として、特に社会民主党系の新聞 <i>Призыв</i> の1906年前半の記事を重点的に追跡した。この新聞には、ペテルブルクの失業者ソヴェト設立において中心的役割を果たしたヴォイチンスキーが偽名で記事を書いており、国家ドゥーマ選挙に影響を及ぼしたと思われるこの時期のペテルブルク労働者のおかれていた状況を、かなり具体的かつ詳細に跡づけることができた。また同紙における労働者の国家ドゥーマ選挙に対する対応についても、これまで検討してきた史料の補足として検討を加えた。同紙に加えて、ペテルブルクで発行されていたが、先年検討した国家ドゥーマ選挙史料に含まれていなかった新聞の数紙について、選挙関連の記事を収集し、分析を開始した。
	研究の考察・反省	昨年度の報告で、残された課題は、労働者の置かれた状況と第一国会選挙にかかわる行動との関連の分析、およびそれに対する革命諸党派の影響の分析であると記したが、上述のようにこの時期の労働者の状況について、これまでの史料に加えて補足的な史料も収集することができた。今年度は当該問題に関しては具体的な成果物を発表できなかったが、現在、これらの分析・検討を進めているところであり、これを成果として発表できるように作業を進めたい。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	研究発表 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。 学界動向 「2017年の歴史学界—回顧と展望—ヨーロッパ近代一般」『史学雑誌』第127編第5号、pp.339-341、2018年5月（単著）